

2024年度NBRPゾウリムシ運営委員会（2回目）議事録

日時：令和6年12月26日（木） 15時30分～16時30分

場所：Webex会議

出席者（敬称略）：

運営委員：

石田正樹（委員長，奈良教育大学理科教育講座），岩井草介（弘前大学教育学部），柴田あいか（東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所），道羅英夫（静岡大学理学部），西上幸範（北海道大学電子科学研究所），保科亮（株式会社ノベルジェン），度会雅久（課題管理者，山口大学共同獣医学部）

欠席：岩本政明（日本大学文理学部）

オブザーバー：

NBRP事務局員1名，高祖歩美（NBRP広報室長），黒田浩介（基盤技術整備事業 分担課題管理者，金沢大学）

陪席者（山口大学）：

渡邊健太（課題管理参加者，共同獣医学部），橘理人（課題管理参加者，大学研究推進機構），松原友紀・折崎真哉（学術研究部）

議事に先立ち，度会委員から司会を石田委員長に依頼し，了承された。

議題

1. 課題管理者挨拶

度会委員から配布資料の確認，および資料3に基づき，運営委員会参加者の紹介があった。

2. 報告事項

（1）令和6年度事業経過報告

度会委員から，資料5に基づき，令和6年度の事業経過について，以下のとおり報告があった。

- 収集数，寄託者数，保存数，提供数とも，今年度中には目標値に達する見込みである。
- 利用者数について，12月にも新規ユーザーを獲得予定のため，計画どおり目標に達する見込みである。

（2）広報活動

度会委員から，前回運営委員会後の広報活動について以下のとおり報告があった。第97回日本細菌学会総会（8月），第167回日本獣医学会学術集会（9月），第97回日本生化学会（11月），第47回日本分子生物学会年会（11月）

加えて，11月23日，24日に日本原生生物学会が山口で開催され，ブースを設けて

広報活動を行なった。大阪公立大学獣医学部では、ゾウリムシを利用した研究の紹介を行い、新規ユーザーの獲得が期待できる内容であった。

(3) NBRP ゲノム情報等整備申請への対応について

度会委員から、ゲノム情報等整備申請に先立ち、ゾウリムシのゲノム解析を予備的に行い、そのデータをまとめて来年度の日本細菌学会で発表予定である旨、報告があった。令和7年度の公募申請については、前回申請時に指摘された事項への対応状況等を勘案し、引き続き検討することになった。

3. 協議事項

(1) 中間評価への対応について

度会委員から、中間評価への対応について、資料7に基づき報告があった後、委員や黒田准教授（基盤技術整備事業、分担課題参加者）を含めた自由討論があった。なお、ゾウリムシの教育目的での活用についても議論があった。

(2) その他

度会委員から、再生医療分野で使われている凍結機器の応用を検討している旨、報告があった。

- 3Dフリーザーを用いたゾウリムシの凍結
- 微小重力環境を実現できる機器でのゾウリムシの凍結

以上